

JUDI九州ブロック

ブロック幹事

新田裕司 Hiroshi Nitta

ブロックメンバー

秋月裕子 壺岐伸敏 岩永秀樹 大久保裕文 尾辻信宣 於保泰正 酒井信治 柴田祐 末成祐二
高橋泉 徳永哲 十時裕 波木健一 新田裕司 日高圭一郎 福田忠昭 蓑茂寿太郎 山内英生
山口ひろこ 山本英治 片田江由佳 喜多峻平 工藤卓 佐保肇 玉田孝二

■ブロックの置かれた地域特性、課題など

九州には福岡、佐賀、長崎、大分、熊本、鹿児島、宮崎の7県があり、それぞれが独自の風土を有している。経済的な観点から見れば、首都圏や関西には及ばないものの、九州全体としては中規模国家に匹敵する経済規模を有している。また、温泉や数々の自然景観に恵まれ、歴史的資源にも事欠かない。自然・文化・経済のバランスのとれた地域であると言える。

中小都市における中心市街地の衰退や、農林水産業を担う人材の高齢化など、全国でみられる課題は九州においても同様に進んでいる。一方で、アジアに近いことから韓国・中国等からの観光客も多く、また着地型観光、農業の六次産業化、文化的景観の保全などの取り組みが各地で積極的に行われている。都市・農村それぞれが地域特性を活かし、地域の魅力を磨き上げていくことで、今後の一層の発展が期待される。

■地域の都市デザイン、まちづくり等への現状の取り組みと活動概要

これまで九州の各都市では、長崎、鹿児島、門司などのウォーターフロント整備や、博多駅、日向市駅などの駅周辺整備など、多様で個性的な都市整備がなされてきた。

現在も、特に中核都市については各地で中心市街地再整備の動きがみられる。福岡市では都心地区やウォーターフロントの再整備が官民一体となって議論されている。長崎市では県庁移転や MICE 整備が動き出しており、熊本市でも中心市街地の再開発や公共空間の再整備が検討されている。大分市では駅前中心軸の整備が進行中である。

一部の中小都市でも同様の動きはあり、老朽化した公共施設を中心市街地に移転することで街の活性化につなげようとする試みがみられる。

景観計画は各地で策定が進み、筑後川流域のように流域単位で景観形成に取り組むという事例もみられる。

■ブロックとして、JUDIとしての課題解決の方策と今後の活動ビジョン

九州ブロックでは、これまでセミナー・シンポジウム等による啓発・情報発信を主体に活動を行ってきた。

特に 2012 年には博多まちづくり推進協議会との共催でシンポジウムを開催し、また 2014 年には JUDI 関西のプロジェクトの一環として歩行者空間セミナーを開催した。このように、地元のみならず、JUDI の他ブロックとの協働を進めることで、メンバーどうしのネットワークを広げることができ、ブロックとしての活動の幅も広がっていくことから、今後もこうした交流を軸として活動を行っていききたい。



九州ブロックのおすすめ景観

出島ワーフ（長崎県長崎市）

九州北西部の沿岸は、内海で島や入り江が多く美しい景観が続く。さらにショッピングセンターや公園、駅に近い立地にヨットの係留施設があるため、全国や海外からこの海域を往来するヨットも多い。まちなかにあるヨットの風景はこの内海エリア独自の景観である。小規模ながら人々の賑わいやイベント空間と一体なった、まちなかワーフ（船着場）としての独自性が期待できる。（文・写真：高橋泉）



湯の坪街道（大分県由布市）

九州の温泉保養地を代表する全国的な知名度を作り上げた湯布院のメインストリートである。

歩車共存の通りは、沿道にクヌギを中心に植栽が施され、広告物規制等のきめ細やかな沿道景観形成とともに、地元住民主体のまちづくりが今も展開されている。（文・写真：徳永哲）



照葉大吊橋（宮崎県綾町）

日本一の専用歩道橋の座は明け渡したものの、迫力十分の橋である。綾町の照葉樹林は、まだ自然林の大切さを理解する人などほとんどいなかった頃、当時の町長が伐採の危機から必死になって守ったものだ。

今では町の宝物となっている照葉樹林をドラマチックに見せるには、これ以上はないと思えるほど効果的な演出となっている。（文・写真：新田裕司）



九州ブロック活動紹介

博多まちづくりシンポジウム① プレワークショップ 2012年11月14日

「クリエイティブ・コミュニティの作り方」をテーマに、ワールドカフェ方式でワークショップを開催。参加者20名。

ワークショップに先だって、小倉で自社所有ビルをリノベーションし、地域のクリエイター等に活動の場を提供している梯輝元氏の講演を行った。



博多まちづくりシンポジウム② シンポジウム 2012年11月19日

「都市型コミュニティの創造と再生～プラットフォームづくり」をテーマにシンポジウムを開催。

「家守事業」をてがける橘昌邦氏による基調講演と、小倉のリノベーション事業に関わる嶋田秀範氏らを加えたパネルディスカッション。参加者60名。博多まちづくり推進協議会との共催。



JUDI 全国大会① 2013年9月14日～15日

JUDI 初の全国大会。

1日目は博多駅前広場に関わった森田昌嗣氏による基調講演、中野恒明氏らを加えたパネルディスカッション。

2日目はプロジェクト報告会、JUDI ありかた検討会。



JUDI 全国大会② エクスカーション 2013年9月16日

エクスカーションは門司港レトロと柳川の2班に分かれた。

門司港では、設計に長年関わった中野恒明氏からの解説を聞くことができた。



まちづくりセミナー：『社会のシフトの仕方～人間中心のまちへ』 2012年10月10日

中野恒明氏による講演。著書「都市環境デザインのすすめ」の内容を中心に、歩行者主体のまちづくりについて解説。星野裕司氏らを加えたパネルディスカッション。参加者40名。風景デザイン研究会との共催。



まちづくりセミナー：人口減少と都市空間の希薄化について 2013年5月18日

柴田 祐氏による講演。大阪都市圏周縁部の郊外住宅地の高齢化と持続性、地方都市における市街化区域内農地、兵庫県山間部の限界集落について解説。参加者21名。



歩行者空間セミナー 2014年2月15日～16日

JUDI 関西のプロジェクトの一端として、福岡市天神で開催。

「これからの歩行者空間デザインに関する勉強会 利用・運用とそれを支えるデザイン」をテーマに、札幌、新宿、大阪等の事例紹介。その後天神地区の街歩きを行い、チームで検討を行い提案を発表。



玄界島視察

JUDI 関西のプロジェクトの一端として実施。2005年福岡県西方沖地震で大きな被害を受け、その後迅速な復興がなされた玄界島を視察。九州ブロックからの参加6名。

